

AREA.Kumamoto-Pref.
AREA.Kagoshima-Pref.

熊本県、鹿児島県

73 八代海

やつしろかい

Yatusiro Kai

海域の概要

本湾は、九州西部に位置し、宇土半島から長島までの島々と九州本島に囲まれた湾です。別名を不知火海ともいいます。湾東部には八代港・水俣港などの港があります。



Specification

諸元

湾口幅：1 3 km

面積：1, 2 0 0 km²

湾内最大水深：8 9 m

湾口最大水深：7 3 m

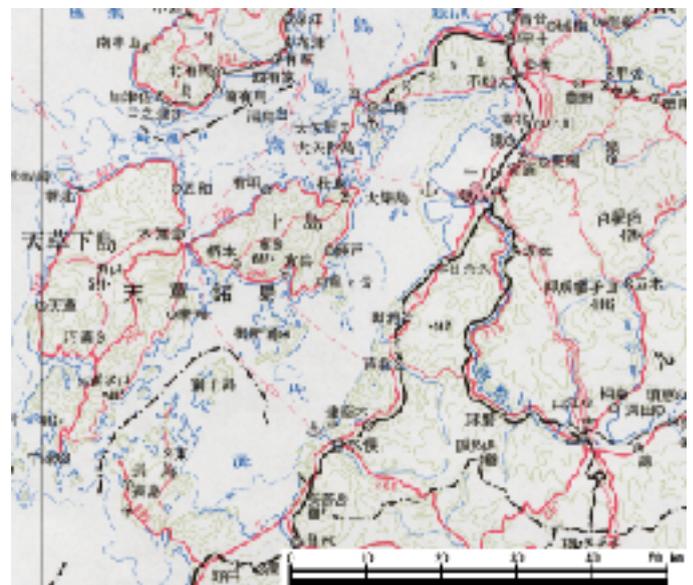
閉鎖度指標：3 2 4 9

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

熊本県宇土郡三角町と天草郡大矢野町を結ぶ天門橋、同町と天草郡松島町を結ぶ大矢野橋、同町中の橋、前島橋、松島橋、本渡市瀬戸大橋、天草下島と牛深市下須島を結ぶ通天橋、牛深市下須島南東端と鹿児島県出水郡長島町小浜埼を結ぶ線、同郡東町と阿久根市を結ぶ黒之瀬戸大橋及び陸岸により囲まれた海域。

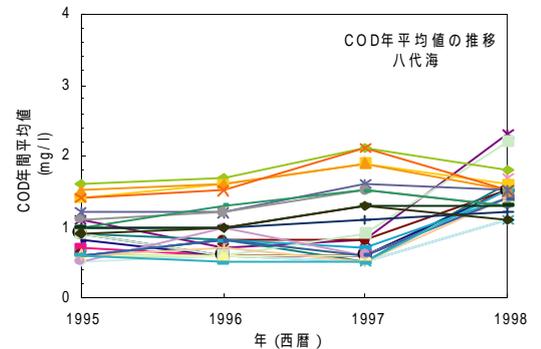


環境

八代海は天草諸島と九州本土に囲まれた閉鎖的な内海で、北部は島原湾、南部は東シナ海といくつかの海峡でつながっています。気候は、沖合を北上する対馬暖流の影響を受け、温暖多雨の太平洋岸気候区に属しています。

八代海には琢磨川をはじめとして数多くの河川が流入して、水質環境に影響を及ぼしています。

平成11年度の八代海の水質は、琢磨川河口の八代港付近が「ややきれい」の2.1~3.0mg/lを示し、湾口へ出るに従いきれい」となっています。経年的には序々に悪化する傾向にあり、夏季には赤潮が発生し、養殖業に被害を与えています。



自然

八代海は西方に天草島、北方には宇土半島、南方は出水半島に囲まれているため、非常に静穏な海域です。長島、獅子島、御所浦島、樋島等の大小島が点在し、風光明媚な景観が見られ、湾西岸の天草を中心に雲仙天草国立公園に指定されています。

湾北部には琢磨川が流入し、河口周辺には広大な泥干潟が形成され、環境省レッドデータブックにも記載されているムツゴロウの数少ない生息地のひとつとなっています。

八代海は、通常は穏やか海ですが、1999年9月に通過した台風18号により、八代海の北部沿岸に高潮が押し寄せ、湾奥の不知火町において死者・浸水被害が出ています。



八代海に沈む夕日

文化歴史

八代港は九州の中央に位置し、熊本県南山岳地帯を流れ八代海に注ぐ、日本三急流の一つといわれる琢磨川の河口港として古い歴史を持っています。江戸時代からの干拓によって開かれた八代港は、背後地として豊富な林産資源を内蔵する九州山地と穀倉八代平野を控え、海外交易の要衝として栄えました。八代地方の政治、文化の発展に重要な役割を果たし、南九州開発の拠点工業港として地元経済に大きな貢献を果たしてきました。八代港の整備は、明治時代の蛇籠地区に物揚場から始まり、その後は、臨海部への大企業の進出とともに港湾活動も発展しました。

産業

八代は、全国有数の干拓地、水量豊かな琢磨川、静かな内海・八代海、温暖な気候など恵まれた条件の中で、農業や工業、水産業などが栄えています。農業では、日本一の生産量を誇る「い草」をはじめ、品質の高い「メロン」、「トマト」などの施設園芸が盛んです。工業では、琢磨川の豊かな水などを活かして、製紙やアルミ、アルコール、セロハンなどの生産が行われています。水産業では、タイ、クルマエビ、ヒラメをはじめ、琢磨川の鮎などが全国に知られています。八代海の新鮮な魚を原料として作られる竹輪・かまぼこ・天ぷらなどは、古くから日奈久温泉の土産物として親しまれています。



日奈久温泉の竹輪